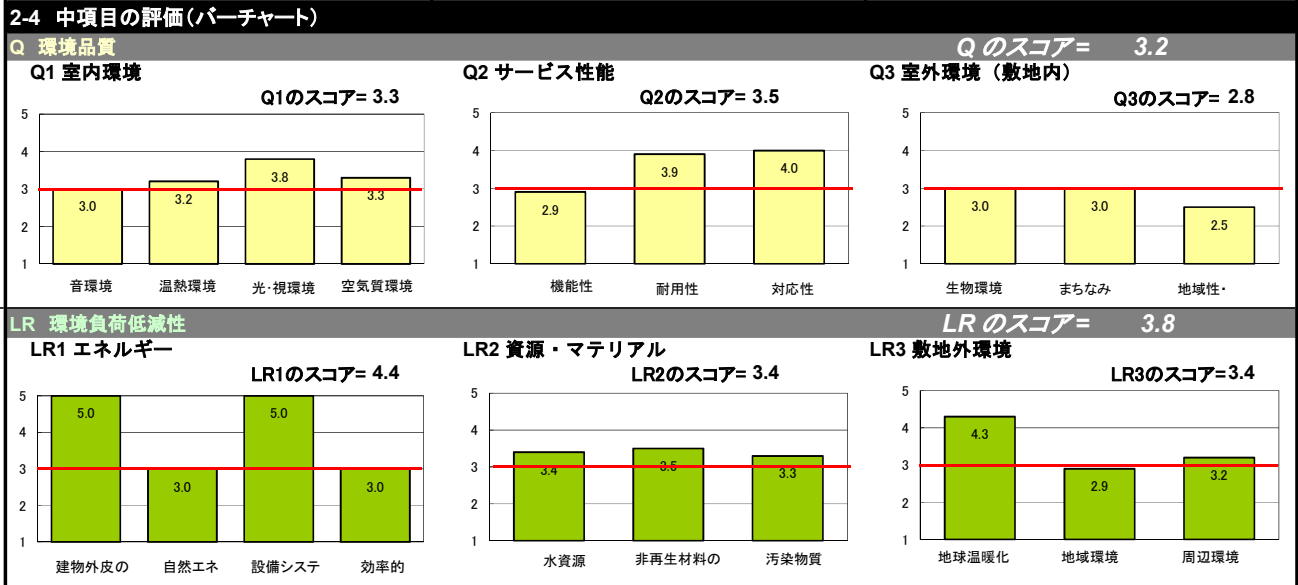
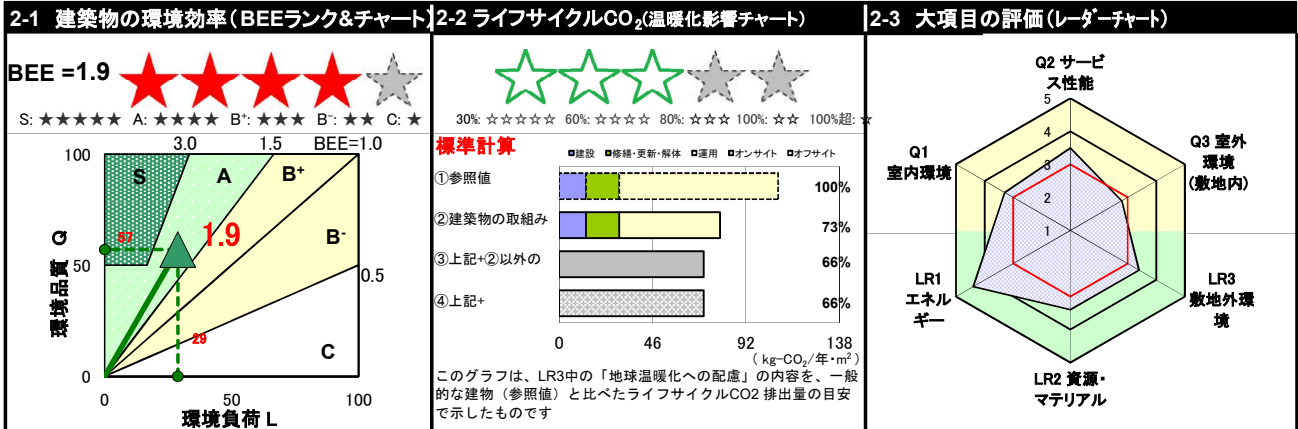


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)東邦テクニウム茅ヶ崎工場 新事務棟建築工事	階数	地上6F
建設地	神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎三丁目818番1 外23番	構造	RC造
用途地域	工業地域・工業専用地域、法22条の地域	平均居住人員	310 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,450 時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年12月 予定	評価の実施日	2023年11月16日
敷地面積	2,210 m ²	作成者	戸田建設横浜設計室一級建築士事務所
建築面積	1,256 m ²	確認日	2023年11月16日
延床面積	5,675 m ²	確認者	戸田建設横浜設計室一級建築士事務所



3 設計上の配慮事項

総合	その他	
・断熱性の高い材料の採用と高効率な設備機器の導入、節水型器具の採用等により、環境負荷の低減に配慮した建物である。	・特になし	
Q1 室内環境 ・1作業ごとにリモコンで照明制御が可能な計画とし、光環境向上に配慮している。	Q2 サービス性能 ・将来の用途変更の可能性等を考慮し、建物の階高、空間の形状・自由さのゆとりを計画している。	Q3 室外環境(敷地内) ・特になし
LR1 エネルギー ・高効率な設備機器を採用し、エネルギーの効率的利用に配慮している。	LR2 資源・マテリアル ・主要水栓は節水器具とし、節水便器を使用する等水資源の保護に配慮している。	LR3 敷地外環境 ・周囲への漏れ光に配慮した屋外照明計画としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される